



# Sun™ Mainframe Batch Manager ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris™ プラットフォーム用)

---

Release 10.1.0

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-2510-10  
2005 年 6 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, AnswerBook2, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun™ Mainframe Batch Manager Software Release Notes for Solaris™ Platforms Part No: 817-7446-10 Revision A
-----	--



# 目次

---

はじめに	vii
ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)	1
一般的なインストール情報	2
ハードウェア要件	2
ディスク容量の要件	2
ソフトウェア要件	2
認定されたコンパイラおよび Sun 以外のソフトウェア	3
運用上の重要事項	3
オペレーティングシステムの互換性の確認	3
ジョブ実行のフローの変更	3
\$KIXSYS 復元後の Sun MTP と Sun MBM の再同期	4
Sun MBM 高可用性データサービスの使用	4
機能拡張	5
ACUCOBOL-GT のサポート	5
外部 CICS インタフェースのサポート	5
WebSphere MQ のサポート	5
言語サポートの情報	6
COBOL アプリケーション	6
Liant Open PL/I アプリケーション	6

Sun 以外の製品	7
Oracle	7
非推奨となった機能	7
haltrans トランスレータ	7
// *EBM_BTSH* コメント	7
Parallel Processing Facility (PPF)	8
既知の問題と制約	8
IDCAMS ユーティリティーの制限事項	8
コメントの継続	8
CATALOG パラメータを含む DELETE 文	9
ベース GDG が指定された REPRO ステップ	9
ACUCOBOL-GT アプリケーション	10
製品マニュアル	10
索引	13

# 表目次

---

表 1	Sun MBM 製品マニュアル	10
-----	-----------------	----



# はじめに

---

このマニュアルでは、Sun™ Mainframe Batch Manager ソフトウェア (Sun MBM) Release 10.1.0 の変更点について説明します。

---

## UNIX コマンド

このマニュアルには、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX® コマンドと操作手順に関する説明は含まれていない可能性があります。これらについては、以下を参照してください。

- 使用しているシステムに付属のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris™ オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

---

# シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

---

# 書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% <b>su</b> Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% <b>grep</b> '^#define \ XV_VERSION_STRING'

\* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

# 関連マニュアル

製品	タイトル	Part No.
Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』	819-2505-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア インストールガイド』	819-2506-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア メッセージガイド』	819-2507-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』	819-2508-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』	819-2360-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ユーザーズガイド』	819-2509-10
Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』	819-2514-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』	819-2515-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』	819-2516-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア インストールガイド』	819-2517-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア メッセージガイド』	819-2518-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』	819-2519-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』	819-2520-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』	819-2358-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』	819-2521-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	819-2522-10
IBM MVS	『IBM MVS/ESA JCL Reference』	GC28-1479
IBM VSE	『IBM VSE/ESA System Control Statements』	SC33-6713
	『IBM VSE/POWER Administration and Operation』	SC33-6733
Server Express	Server Express のマニュアル	*
ACCOBOL-GT	ACUCOBOL-GT のマニュアル	*

製品	タイトル	Part No.
Open PL/I	『Liant Open PL/I User's Guide』	*
	『Liant Open PL/I Language Reference Manual』	*
	『Liant CodeWatch Reference Manual』	*
C	C コンパイラのマニュアル	*

\* これらのマニュアルは、使用するプラットフォームによって異なります。プラットフォームに該当するマニュアルについては、ご購入先にお問い合わせください。

## Sun のマニュアルの注文方法

日本語版を含め、Sun のマニュアルは次のサイトで、表示や印刷、または購入ができます。

<http://www.sun.com/documentation>

## Sun の技術サポート

この製品に関して、このマニュアルでも解決しない技術的な質問がある場合は、次のサイトからお問い合わせください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

## コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』、Part No. 819-2510-10

# ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)

---

このマニュアルでは、Sun MBM ソフトウェア Release 10.1.0 の新しい機能および変更点について説明します。Release 10.1.0 のマニュアルセットには、以前に Release 10.0.1 のパッチノートに含まれていた情報が記載されています。

このマニュアルの内容は次のとおりです。

- 2 ページの「一般的なインストール情報」
- 3 ページの「運用上の重要事項」
- 5 ページの「機能拡張」
- 6 ページの「言語サポートの情報」
- 7 ページの「Sun 以外の製品」
- 7 ページの「非推奨となった機能」
- 8 ページの「既知の問題と制約」
- 10 ページの「製品マニュアル」

SunSolve<sup>SM</sup> の Web サイト <http://sunsolve.sun.com> で提供される Sun MBM パッチを定期的にチェックし、推奨されているパッチを適用してください。Release 10.1.0 に対するパッチの基本番号は 120077 です。

ソフトウェアの初期リリースからアップグレードする場合、新しいリリースの準備作業については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア インストールガイド』を参照してください。

---

# 一般的なインストール情報

Sun MBM Release 10.1.0 は、Solaris 9 および Solaris 10 オペレーティングシステムで認定されています。

## ハードウェア要件

Sun MBM ソフトウェアは、Sun の Sun-4u システム上で実行されます。

---

注 - Ultra 1 システムは、Sun-4u アーキテクチャーであっても Solaris 10 以降のリリースではサポートされません。

---

## ディスク容量の要件

Sun MBM ソフトウェアには、次のディスク容量に関する要件があります。

- 配布される .zip または .tar ファイルから抽出される Sun MBM パッケージには、27M バイト以上が必要です。
- ノードを作成する場合、基本ディレクトリに 27M バイト以上が必要です。

サブシステムおよびアプリケーションファイルのために、さらにディスク容量が必要です。

## ソフトウェア要件

次のソフトウェアが必要です。

- Solaris 9 または Solaris 10 オペレーティングシステム
- OSF/Motif、バージョン 1.2 以降
- Sun Studio C/C++ コンパイラとして、Sun Studio 9 以降のリリース

# 認定されたコンパイラおよび Sun 以外のソフトウェア

Solaris オペレーティングシステム上でのこのリリースの Sun MBM は、次の Sun 以外の製品との使用が認定されています。

- Oracle® リレーショナルデータベース、バージョン 9.2 および 10g
- IBM DB2 UDB リレーショナルデータベース、バージョン 8.1
- Sybase SQL Server、バージョン 12.5
- Micro Focus Server Express、Release 4.0 および 4.0 SP1 (COBOL)
- Acucorp の COBOL コンパイラ、ACUCOBOL-GT®、バージョン 7
- Liant Open PL/I、バージョン 7.4.10
- Java™、Release 1.4 (最新パッチ適用済み)
- SyncSort、バージョン 3.10
- CoSORT、バージョン 7.5.3
- IBM WebSphere MQ、バージョン 5.3

ここに示す製品より古いバージョンのソフトウェアは、動作しない、あるいはサポートされないというわけではありません。ただし、これらの製品の古いバージョンを使用する場合は、Sun MBM Release 10.1.0 と一緒にテストして、その動作が、使用するアプリケーションの要件を満たすことを確認する必要があります。

---

## 運用上の重要事項

### オペレーティングシステムの互換性の確認

INSTEBM ユーティリティを実行してノードをインストールすると、互換性があるバージョンの Solaris オペレーティングシステムを使用していることを確認するチェックが実行されます。互換性がないバージョンの Solaris の場合は、エラーメッセージが表示されます。

### ジョブ実行のフローの変更

設定ファイルまたはジョブストリームでシェルコマンド (`cd /tmp/myfiles` など) を使用して、ジョブ実行のフローを変更しないでください。変更した場合、予期しない動作が発生することがあります。

## §KIXSYS 復元後の Sun MTP と Sun MBM の再同期

Sun MTP と Sun MBM をともに使用していて、領域の §KIXSYS ディレクトリをバックアップから完全に復元する必要がある場合、サブシステムと領域を再同期して再び接続できるようにする必要があります。次の手順に従います。

1. Sun MTP 領域を停止します。
2. §KIXSYS ディレクトリを復元します。
3. Sun MBM で BAM を起動します。
4. BAM メインメニューでオプション「3, Applications & Subsystems」を選択します。
5. 「Applications & Subsystems」メニューで、オプション「4, Update a Subsystem」を選択します。
6. 更新するサブシステムの番号を入力します。
7. 「Update」メニューでオプション「2, Change MTP Region」を選択します。
8. §KIXSYS ディレクトリのパス名を入力し、Return キーを押します。  
画面に正しいパス名が表示されている場合は、Return キーを押すだけです。
9. 確認画面が表示されたら、Return キーを押します。
10. BAM を終了します。
11. Sun MTP 領域を再起動します。

## Sun MBM 高可用性データサービスの使用

Sun Cluster アーキテクチャー、データサービス、Sun MBM ソフトウェア、および Solaris OS に関する知識が必要です。Sun Cluster とともに使用するボリュームマネージャーソフトウェアに関する知識も必要です。詳細については、Sun Cluster のマニュアルを参照してください。高可用性ソリューションの計画および実装には Sun Cluster コンサルタントの協力が必要です。

---

## 機能拡張

この節では、Sun MBM ソフトウェアの Release 10.0.1 以降に入った機能拡張について説明します。

### ACUCOBOL-GT のサポート

Sun MBM は、COBOL アプリケーション環境で ACUCOBOL-GT コンパイラをサポートします。ACUCOBOL-GT では、ファイルシステム (FS) タイプのファイル、Sun MTP VSAM データセット (KSDS と RRDS のみ)、および Oracle データベースへのアクセスがサポートされます。ACUCOBOL-GT の使用方法については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

### 外部 CICS インタフェースのサポート

Sun MBM は、外部 CICS インタフェース (EXCI) をサポートします。EXCI によって、バッチプログラムが Sun MTP 領域でトランザクションを実行できます。EXCI を使用するためのサブシステム環境の構成については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

### WebSphere MQ のサポート

Sun MBM は、WebSphere MQ へのアクセスをサポートします。このリリースでは、MQ で構成される Sun MTP 領域との統合によってサポートされます。MQ にアクセスするためのサブシステムの構成については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。

## 言語サポートの情報

この節では、Sun 以外の言語コンパイラに関連する情報について説明します。

### COBOL アプリケーション

この節では、COBOL アプリケーション環境に影響を与える Sun MBM の変更点について説明します。

Micro Focus Server Express のサポートに加えて、Sun MBM は ACUCOBOL-GT バージョン 7.0 をサポートします。サブシステムを作成する際に、Server Express (デフォルト) または ACUCOBOL-GT を選択する必要があります。1 つのサブシステムで両方の COBOL をサポートすることはできません。

ACUCOBOL-GT によって構築された Sun MBM サブシステムは、Sun MTP VSAM 領域と統合できます。ACUCOBOL-GT サブシステムは Oracle データベースにもアクセスできます。

---

**注** - ACUCOBOL-GT ライセンスは、`$ACUCOBOL/etc/license.acu` または `/etc/license.acu` にある必要があります。

---

サポートするバージョンについては、3 ページの「認定されたコンパイラおよび Sun 以外のソフトウェア」を参照してください。

### Liant Open PL/I アプリケーション

Sun MBM 10.1.0 では Open PL/I Release 7.4.10 を使用する必要があります。リリースに関する情報、および PL/I アプリケーションプログラムの再コンパイルが必要かどうかを判断するには、Open PL/I のリリースノートを参照してください。

Liant Open PL/I バッチアプリケーションを以前のリリースから移行する場合、Sun MTP のデフォルトの直列化メカニズムを使用しているときは、`-l thread` オプションを使用して VSAM データセットにアクセスする PL/I プログラムを再リンクする必要があります。これは、Sun MTP 8.1.0 でデフォルトの直列化メカニズムが相互排他に変更されたためです。以前の Sun MTP はデフォルトとしてセマフォを使用していました。unikixmain `-E` オプションを使用して Sun MTP 領域を起動することによってセマフォを有効にする場合は、プログラムを再リンクする必要はありません。

PL/I プログラムの使用については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア移行ガイド』を参照してください。

---

## Sun 以外の製品

Sun 以外の製品を使用中のサブシステムと統合する場合、32 ビットバージョンの製品のクライアントライブラリを使用する必要があります。このクライアントライブラリは、サブシステムと統合される Sun 以外の製品の一部になります。

### Oracle

Sun MBM 10.1.0 は、Oracle 10g および Oracle 32 ビットクライアントライブラリで認定されています。Oracle 10g を 32 ビットクライアントライブラリとともにインストールしない場合、Oracle 10g インストールのデフォルトは 64 ビットクライアントライブラリです。Sun MBM で Oracle 64 ビットクライアントライブラリを使用すると、サブシステムバイナリの作成時に予期しない結果になります。Oracle サーバーは 64 ビット版も可能です。

---

## 非推奨となった機能

この節では、非推奨となった製品の機能について説明します。

### haltrans トランスレータ

haltrans トランスレータは、mvstrans および dostrans トランスレータに置き換えられ、サポートされなくなりました。

### // \*EBM\_BTSH\* コメント

この機能は廃止されました。代わりに EBMSYSCMD マクロを使用してください。EBMSYSCMD マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

# Parallel Processing Facility (PPF)

Parallel Processing Facility (PPF) は、Sun MBM のコンポーネントとしてアクセスすることができなくなりました。Sun Client Solutions の使用でのみアクセス可能です。

---

## 既知の問題と制約

この節では、MTP の今回のリリースに関する既知の問題と制約について説明します。これらの問題の対処方法については、SunSolve の Web サイトでパッチリリースをチェックしてください。

## IDCAMS ユーティリティーの制限事項

この節では、Sun MBM 環境での IDCAMS ユーティリティーの使用に対する、これまでに説明されていなかった制限事項について説明します。

### コメントの継続

**制限事項:** IDCAMS SYSIN データでは、行継続文字 (-) または文字列継続文字 (+) を使用して複数の行に渡ってコメントを継続することはできません。

**回避策:** そのコメントを削除するか、コメントを別々の行に分けます。

例 1

```
/* dai+  
ly update */
```

次のようにコメントを次の行に移します。

```
/* daily update */
```

例 2

```
/* daily -  
update */
```

次のようにコメントを次の行に移します。

```
/* daily update */
```

## CATALOG パラメータを含む DELETE 文

**制限事項:** DELETE 文に CATALOG パラメータが含まれる場合、埋め込まれたスペースがサポートされないことがあります。

**回避策:** 括弧内のスペースを削除します。

例

```
DELETE (MY.DATASET) CATALOG (MYCATLOG/ MYPASSWD)
```

次のようにスラッシュのあとのスペースを削除します。

```
DELETE (MY.DATASET) CATALOG (MYCATLOG/MYPASSWD)
```

## ベース GDG が指定された REPRO ステップ

**制限事項:** INFILE または INDATASET パラメータでベース GDG (すべての GDG インスタンスの連結) を指定している REPRO ステップは、オカレンスがない場合、失敗する可能性があります。

**制限事項:** ENVIRONMENT (DUMMY) 構文パラメータ REPRO INFILE および REPRO INDATASET は、現在のリリースではサポートされません。このパラメータは無視されます。

**回避策:** ENVIRONMENT サブパラメータを削除します。

例

```
REPRO INFILE (DD1 ENVIRONMENT (DUMMY)) OUTFILE (DD2)
```

次のように ENVIRONMENT サブパラメータを削除します。

```
REPRO INFILE (DD1) OUTFILE (DD2)
```

# ACUCOBOL-GT アプリケーション

ACUCOBOL-GT プログラムを使用して Sun MTP VSAM ファイルにアクセスする場合には、次の制限に注意してください。OUTPUT モードのみでは VSAM ファイルを開くことができません。ファイルに書き込むための I-O (入出力) モードでファイルを開く必要があります。OUTPUT の機能が必要な場合は、ファイルへの書き込みの前に IDCAMS DELETE を実行してファイルを初期化する必要があります。この制限は次のパッチリリースで除かれます。

## 製品マニュアル

次の表に、Sun MBM のマニュアルとその内容を示します。

表 1 Sun MBM 製品マニュアル

マニュアル名	内容
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ノードの設定</li><li>• 日付と時刻の変更方法</li><li>• ノード間通信の設定</li><li>• ジョブアカウントの設定</li><li>• サブシステムの作成とカスタマイズ</li><li>• セキュリティとユーザーの設定</li><li>• ジョブクラスとアクティビティの設定</li><li>• エラーログの設定と障害追跡ツールの使用方法</li><li>• RDBMS 用のアプリケーションのカスタマイズ</li><li>• Sun MTP との通信方法</li></ul> <p>関連情報</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 概念</li><li>• ジョブの実行環境を制御する環境ファイル</li></ul>
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア インストールガイド』	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Sun MBM のインストール</li><li>• 初期リリースからのアップグレード</li><li>• インストールを検証するためのサンプルアプリケーションの実行</li><li>• ライセンスファイルの設定</li></ul>
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア メッセージガイド』	すべてのエラーメッセージのリストと説明、および推奨される対応処置

表 1 Sun MBM 製品マニュアル (続き)

マニュアル名	内容
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ファイルのマッピング</li> <li>• ツールキットの使用</li> <li>• MVS JCL と VSE JCL の変換</li> <li>• MVS JCL をインポートするジョブエディタの使用法</li> <li>• メインフレームユーティリティーを使うアプリケーションの移行</li> <li>• アプリケーションプログラムの移行</li> </ul> <p>関連情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メインフレーム環境からジョブを移行することについての概念</li> <li>• バッチシェル</li> </ul>
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』	<p>詳細情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MVS JCL 文のサポート</li> <li>• VSE JCL 文のサポート</li> <li>• Sun MBM マクロ文</li> </ul>
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ユーザーズガイド』	<p>詳細情報と手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジョブとサブシステムの管理</li> <li>• ジョブや手順を作成および編集するジョブエディタの使用</li> </ul> <p>関連情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sun MBM コマンド</li> <li>• Sun MBM サービスとデーモン</li> </ul>
『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	<p>Sun Cluster の制御下での Sun MBM の実行を可能にする高可用性ソフトウェアをインストールおよび構成する方法の説明</p>

『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア メッセージガイド』の説明と対処では、「エラーテーブル」と「シグナルテーブル」を参照するものがあります。これらの用語は、Solaris オペレーティングシステムに付属しているインクルードファイルを指します。これらのファイルへのアクセス方法が分からない場合は、システム管理者に連絡してください。



# 索引

---

## A

ACUCOBOL-GT  
コンパイラのサポート, 5  
ライセンス, 6

## C

C/C++ コンパイラ, 2  
COBOL サポート, 6

## E

EBM\_BTSH 文, 7  
EBMSYSCMD 文, 7

## H

haltrans トランスレータ, 7

## I

IDCAMS の制限事項, 8

## O

Oracle サポート, 7  
OSF/Motif, 2

## P

Parallel Processing Facility (PPF), 8  
PL/I サポート, 6

## S

Sun Cluster, 4  
Sun MBM と Sun MTP の再同期, 4  
Sun MTP、Sun MBM との再同期, 4  
Sun 以外のソフトウェア  
クライアントライブラリ, 7  
認定された, 3

## W

WebSphere MQ, 5

## お

オペレーティングシステムの互換性, 3

## か

外部 CICS インタフェース (EXCI), 5

## く

クライアントライブラリ, 7

## こ

高可用性データサービス, 4

コンパイラ, 3

## し

ジョブ実行のフロー, 3

## そ

ソートパッケージ, 3

ソフトウェア要件, 2

## て

データベース, 3

## に

認定されたソフトウェア, 3

## は

ハードウェア要件, 2

## ひ

非推奨となった機能, 7